

平成26年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

佐世保市立祇園中学校

所在地 佐世保市祇園町14番12号

校長 妻夫木 敏明

生徒数 1年生131名 2年生138名 3年生147名 総計416名

学級数 12クラス 特別支援学級2クラス 全学級14クラス

1 学校経営ランドデザイン

祇園中学校経営図



校訓
自尚創理
彊志造性

GION PRIDE 祇園プライド

保護者

“当たり前”のことが当たり前のできる生徒”

祇園プライドを胸に日々奮励努力し、文武の道を究める。尚い志をもって自らを高め、誇り高さ旭・花園の伝統を継承し、確かな校風の樹立に努める。

地域

文字	めざす生徒像	本校教育目標
G 義	① 義務を果たす生徒	確かな判断力で当たり前のできる生徒の育成 理性
I 知	② 意気盛んな生徒	向学の意気高く創造力豊かな生徒の育成 創造
O 徳	③ 思いやりのある生徒	尚い志をもち和してやり遂げる生徒の育成 尚志
N 体	④ 忍耐強くやりぬく生徒	心身たくましく努力を重ねる生徒の育成 自彊

GION BRAND

1 健康・体力の向上

- 健康は自らが守る
- 食育はすべての土台
- 体力・運動能力の向上
- 組織的な健康教育の実践

2 気力の向上

- 尚い志の育成
- 克己心の育成
- 忍耐力の育成
- 自己肯定感

3 学力の定着と向上

- 授業規律の確立
- 基礎基本の定着
- 学ぼうとする意欲
- コミュニケーション力
- 家庭における学び

4 豊かな心の育成

- 特別支援教育
 - 道徳教育・人権教育
 - 読書活動
 - 学校行事や交流事業
- GION PRIDE**

5 開かれた学校づくり

- 学校公開、授業公開
- ホームページ更新
- 諸通信発行と配布拡大
- 学校だより「薫風」
- 地域のひと・ものを活用
- 伝統文化・キャリア教育

6 学校力の向上

- 安心安全な学校づくり
- 授業力向上
- メンタルケアと教育支援
- 学校評議員・地域人材活用
- 保護者・地域との共育実践
- 関係機関とのネットワーク

【生活三行】

◇合言葉はアイス
あいさつ抜群
いじめ撲滅
すすんで行動

【学習三態】L.L.R.

身体ごとに向けて 聴く Listen
納得するまで 学ぶ Learn
身につくまで くり返す Repeat

生徒

【継続三活動】続けられ本物になる
●集中して自分を磨く三つの「十」
・朝読書の十分間
・無言清掃の十分間
・十分な家庭学習

精整静

●三つの漢字「セイ」
静かで穏やかな学校
整って秩序ある学校
精力満ちて集中できる学校

【校風三字】こんな学校でありたい

- ・子どもの良さを引き出す教師
- ・わかる喜びをつくり出す教師
- ・和を重んじる教師
- ・良き市民である教師
- ・尊敬される教師

教師（服務規律の向上）

2 目的

学校教育目標の具現化のために、以下の目的を設定した。

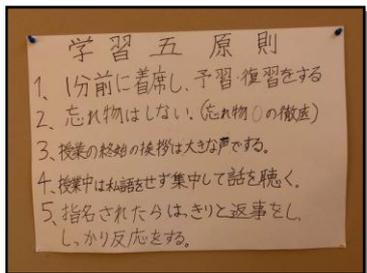
- (1) 新しい立地条件を活かした教育の展開を図り、豊かな感性や人間としての在り方生き方などを学ばせる。
- (2) わかる授業の展開や、授業法の改善、朝読書の推進、学習案内を用いた家庭学習との連動など基礎学力の定着を図る。
- (3) 専門家による歯科保健や性についての講演、食育教育を通して「健康教育」の推進にあたる。
- (4) 各種講演会を実施し、保護者への啓発活動の展開を図りながら家庭教育との連動を図る。
- (5) 開かれた学校を目指し、保護者・地域と連携し、地域の中核としての機能の充実を図る。
- (6) 本物にふれる教育に取り組み、地域人材を活用した「伝統文化学習」を推進する。

3 実践内容

(1) 学力向上の推進

全国学力・学習状況調査や県・市の学力調査の結果を受け、本校では基礎・基本の定着及び家庭学習の習慣化を課題として取り組んでいる。各学級には学習規律のために「学習五原則」を、廊下や階段踊り場には各教科の問題を掲示し、学習への関心を高める取組を実施している。各家庭には「学習案内」（学習の手引き、シラバス等）を年度当初に配布し、家庭での活用を促している。

また、言語活用能力向上の一助として、図書利用を活発化させるために、保護者から「図書ボランティア」を募り、書籍の整理整頓や掲示物の作成等に日替わりで取り組んでいただいている。



(2) 豊かな心の育成の推進

① あいさつ運動・ペットボトルキャップ収集

本校では、生徒会を中心に「朝のあいさつ運動」「ペットボトルキャップ収集」等の奉仕・ボランティア活動に取り組んでいる。ペットボトルキャップの収集においては、毎月生徒会朝会で集計結果を発表し、熱心に取り組んだ学級の表彰を実施している。収集したキャップは地域の企業に持参し、ポリオワクチンの購入に役立ててもらっている。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
1-1	1012	149	215	194	100	252	211	275	275	275	275	275
1-2	552	287	73	1	0	0	0	0	0	0	0	830
1-3	584	117	303	0	0	0	0	0	0	0	0	1004
1-4	554	117	211	73	0	0	0	0	0	0	0	945
2-1	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
2-2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
2-3	440	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2000
2-4	440	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2000
3-1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
3-2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
3-3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
3-4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
計	4400	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	1100	11000

② いのちを見つめる講演会

6月18日（水）、長崎犯罪被害者支援センターから、長崎短期大学教授であり臨床心理士でもある中野明人先生を講師としてお招きし、「犯罪被害者の思いを理解する～被害者支援活動を通じて学んだこと～」と題し、いのちの尊さについて講演をいただいた。事件が発生した場合は、加害者側への配慮がなされるこ



とが多いが、その陰では深い傷を負い、苦しみの中で毎日を生活している被害者側の心情を切々とお話いただいた。いのちの大切さとともに犯罪の愚かさやそこから引き起こされる悲惨な現状を学ぶ貴重な機会となった。

③ 「いのちを見つめる」一斉道徳授業の公開

「いのちを見つめる強調月間」の取組のひとつとして、6月18日（水）の5校時に「生命の尊重」を題材に、各学年で一斉道徳を行った。自分自身の心を見つめ直し、人としてどうあるべきかについて考えを深める学習に取り組んだ。



④ 救命救急実技講習

7月8日（火）、水難事故防止に備え、2年生学年行事の一環として、佐世保市消防局署員を講師に招き、救命救急実技講習会を実施した。人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの使用方法等を保護者とともに受講し、命の大切さを改めて学ぶ大切な取組となった。

⑤ 国際理解教室

10月20日（月）、国際社会への関心を高めるため、また、異文化理解を通して国際感覚をより身に付けるために、光園地区主任児童委員の武田義久様を講師に招き、海外での活動体験をお話いただいた。JICAの一員として東ティモールで取り組んできたことを通して、国際社会の中で日本が果たすべき役割や互いの文化を認め合い生きていくことの大切さを学ぶことができた。

(3) 健康教育の推進

① 食育講演会

12月16日（火）、ニュートリ長崎の村上淑子先生を講師に招き、バランスのとれた食生活の大切さ（脳の活性化やタンパク質摂取の大切さなど）をお話いただきました。規則正しい生活習慣を身に付け、食生活に関する正しい知識を知る良い機会となった。

② ブラッシング指導

12月2日（火）、本校歯科校医の徳富敏信先生及び九州文化学園歯科衛生士学院の生徒さんを講師に招き、正しい歯の磨き方についてのブラッシング指導を実施した。歯周病など歯の病気についての基本的な学習をするとともに、その予防法としての正しい歯の磨き方を、懇切丁寧な指導のもと学ぶことができた。



(4) 人権・平和教育の推進

6.29平和集会では、佐世保空襲を語り継ぐ会から西 敏子様をお招きし、「70年前を振り返って」と題しお話をいただいた。幼少のころ焼け野原となった佐世保の惨状や戦争の凄まじさを切々と訴えられた。また、8.9平和集会では、「平和の尊さをみつめ、平和を伝えていくために、わたしたちにできること」をテーマに詩の朗読や発表を行い、「平和記念式典」TV中継を視聴した。



12月5日（金）には「わたしたちの世界人権宣言」をもとに、人権・平和学習実行委員が、発表と詩の朗読をした。「世界人権宣言」を改めて見直すことにより、一人一人の個性の尊重と人権の大切さを学ぶ意義深い学習会となった。

(5) 防犯教育の推進

① 護身術教室

11月10日（月）、中高生が巻き込まれる事件の多発を受け、佐世保警察署生活安全課から村瀬金哉様を講師に招き、護身術教室を開催した。

毎日の学校生活が、安心・安全に過ごせるように、また、万が一のために実際に身の守り方を保護者とともに教わった。



② 薬物乱用防止教室

11月25日（火）、薬物乱用防止教室を実施し、花みずきライオンズクラブの石田眞由美様より、薬物の恐ろしさや身近に潜む罠などについてお話をいただきました。

③ 情報モラル学習会

7月18日（金）、前PTA会長 重信 哲様を講師に招き、「怖いインターネット怖くないインターネット」と題しお話いただいた。スマートフォンや携帯電話等の利便性とともに、フェイスブックやライン等による被害防止について詳しく学習できる時間となった。



(6) 地域交流

11月8日（土）・9（日）、中部地区公民館文化祭の開催にあたり、各学年から習字や各教科（社会・美術・技術）の作品を出展し、吹奏楽部がオープニングアクトを務めた。地域の主要行事の一つに参加し、地域との交流を深めた。



(7) 本物を学ぶ「伝統文化学習」

1月16日（金）・23日（金）、2年生を対象に伝統文化学習を実施した。日本の伝統文化に造詣が深い地域の方を講師に招き、基本を学ぶとともに礼儀や作法等の体験もした。本年度は7コース（茶道・華道・書道・箏曲・民謡・俳句・弓道）を開設し、日本の伝統文化の優雅さや奥深さを再発見する貴重な時間となった。



4 成果と課題

新設校である本校は、保護者や地域から注目され期待も大きい。旭・花園の両校の伝統の良さを引き継ぎながらも、本校ならではの生徒の育成や学校づくりに邁進し、祇園ブランドの確立に努めている。これからも、保護者や地域とともに様々な取組を推進し、信頼関係を深めながら、学校教育目標の具現化を図っていきたい。